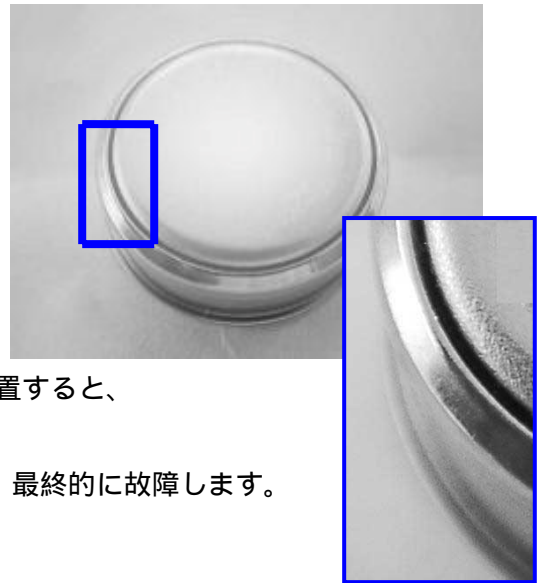


防水対策について

製品には、右写真のように、構造上、接合部に継目があります。その隙間のようなその継目には、充填材が詰められていて、日常生活防水程度の防滴性能があります。



しかし、液体の中に浸ける場合や、多湿の環境に長時間放置すると、その継目(溝)から製品内部に液体が染入ります。その結果、内部のICが誤動作を起こしたり、内蔵電池等が腐食して、最終的に故障します。

その防水対策としては、

右の写真の黄色で示した箇所のように、その継目の目地に沿って、耐水性コーキング材(バスコークなど)や耐水性のシリコン系接着剤をその目地にヘラなどで押し込んで目張り処理を行ってください。また、ご用途に応じて、耐熱性、耐寒性、耐候性、耐久性、耐油性、耐薬品性など、適した耐性のあるシール材を選択してください。



多湿環境に短期間だけ設置するのであれば、その継目の目地にワックス等を塗布して、水を弾くような手立てをすることも一つの方法です。

ただし、その目張りしたシール材が、

下の写真のように、緑色で示した箇所(本体の上面と側面)までも塗ってしまった場合、



パソコンと通信できなくなります。

そのように通信できなかった場合は、

左の写真の緑色で示した箇所に付着したシール剤の一部を擦って剥がせば、元の通信できる状態に戻ります。

また、上記の方法の代わりに、別売の専用**防水キャップ**や専用**耐圧防水カプセル**を利用したり、あるいは、厚手のビニール袋等に入れてるなど、何らかの方法で**完全密封**してご利用下さい。

【ご注意】 チャック付きのビニール袋に入れるだけでは、中に水がしみ込む可能性があります。チャック部を接着剤で塞ぐか、あるいはシール機やシーラーと呼ばれるもので袋の開口部をヒートシール(熱圧着)で塞いでください。